

森に新しく来た2家族を紹介します

文責 成岡 真清

子供が減る一方だった森地区ですが、今年は新しい流れがありました。どんな人たちなのかお話を伺ってみました。

① Kさんご家族@犬飼

香肌小学校の初めての親子山村留学生として10月に犬飼地区に入られたKさんご家族を紹介します。お母さんと小学生の兄弟、幼児の妹さんの4人で、日々初めてのことに挑戦しながら暮らされています。森に来られる前はお父さんと一緒にインドネシアで過ごされていましたが、2年間続くオンライン生活に限界を感じ、子供たちもお母さんもリアルな体験、土に触れることや友達と生の触れあいがしたいとの思いでこの地域に飛び込んで来てくれました。

香肌小学校に決めたのは、年度途中からでも受入可能だったことと、なんといっても豊富な体験に惹かれたからと。10月に転入してすぐに運動会や学習発表会、社会見学に畑体験、花植えに焼き芋など、初めてのことばかりでとても楽しんでおられます。近所の方も優しく、妹さんがたくさんの人に可愛がられて過ごしていることをお母さんはしみじみと喜んでおられます。

常夏の国からの転入なので、寒さは心配ですがそれよりも四季の変化が面白く、夏の川遊びがとても楽しみだとか。野生動物との遭遇や、野菜を育てることも楽しみにしておられます。地域の行事もできるだけ参加していきたいと目を輝かせて話してくれました。